

吉備中央町内のPFOS・PFOA事案に係る 公共用水域等の継続モニタリング結果について

吉備中央町内のPFOS・PFOA事案に係る令和6年10月の公共用水域等の継続モニタリングの結果は、次のとおりでした。

1 調査日

令和6年10月2日(水)

2 調査結果*

(単位：ng/L)

	令和5年		令和6年				
	10月	12月	2月	4月	6月	8月	10月
西側沢F1	62,000	—	54,000	—	—	72,000	—
西側沢E2	55	—	25	—	—	85	—
西側沢B2	4,600	3,100	2,500	10,000	11,000	4,800	5,200
河平ダム	1,100	1,100	960	960	1,400	1,600	1,200
山王橋 (日山谷川)	460	470	320	560	370	320	420
大下橋 (宇甘川)	15	13	11	29	24	15	14
宇甘溪 (宇甘川)	—	—	—	34	19	16	12
地下水① (山王橋付近)	390	—	340	—	—	410	—
地下水② (大下橋下流)	—	—	—	5.1	—	5未満	—

※ PFOSとPFOAの合計値であり、公共用水域及び地下水の要監視項目として、暫定指針値50ng/L以下が設定されている。

注) 調査頻度：西側沢F1、西側沢E2、地下水①及び地下水②は、8月及び2月
西側沢B2、河平ダム、山王橋、大下橋及び宇甘溪は、偶数月

3 今後の対応

濃度は、一定の変動があると考えており、モニタリングを継続（次回は12月の予定）して今後の濃度の推移を注視していく。

公共用水域等の継続モニタリング地点及び結果

